

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

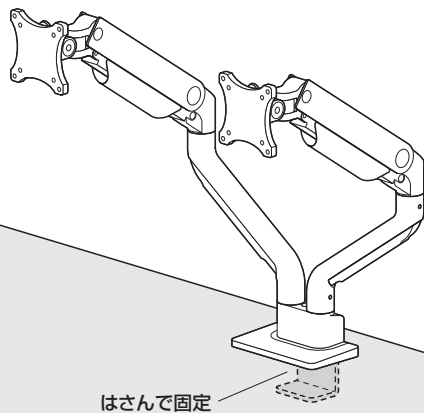
**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

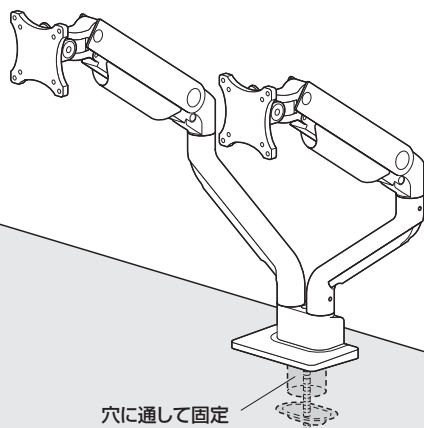
完成図

※本製品は組立て方によって、手順 **3** 以降が異なります。

Aタイプ



Bタイプ



<組立てに必要な人数>

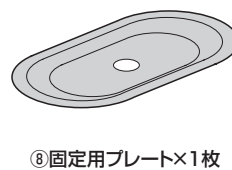
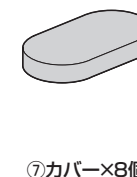
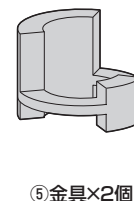
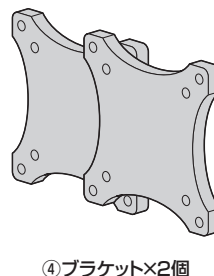
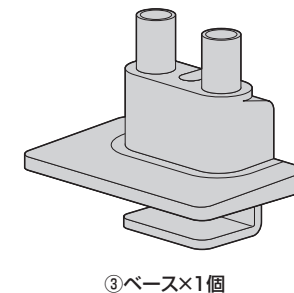
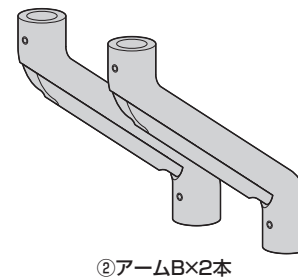
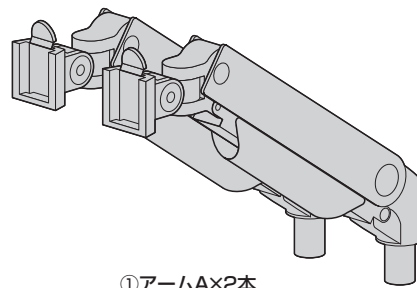
大人1人以上

<用意していただくもの>

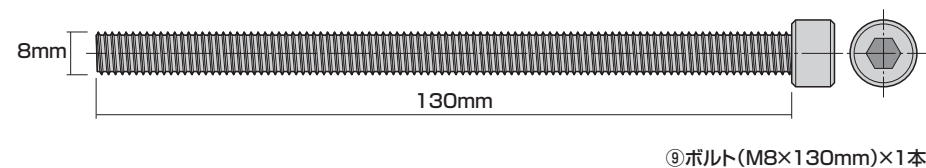
- ・プラスドライバー
- ・毛布
- ・電動ドリル
- ・手袋(ケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

組立部品

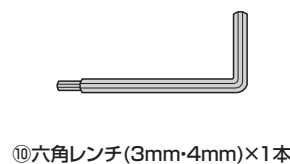
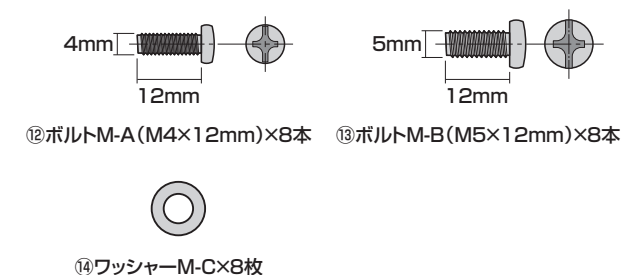
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-LACD009BKなど)と下記の部品番号(①～⑭)と部品名(ボルトなど)をお知らせください。



使用ボルト類



ディスプレイ取付用ボルト類



手順 1

全てのボルト類を締め付けます。

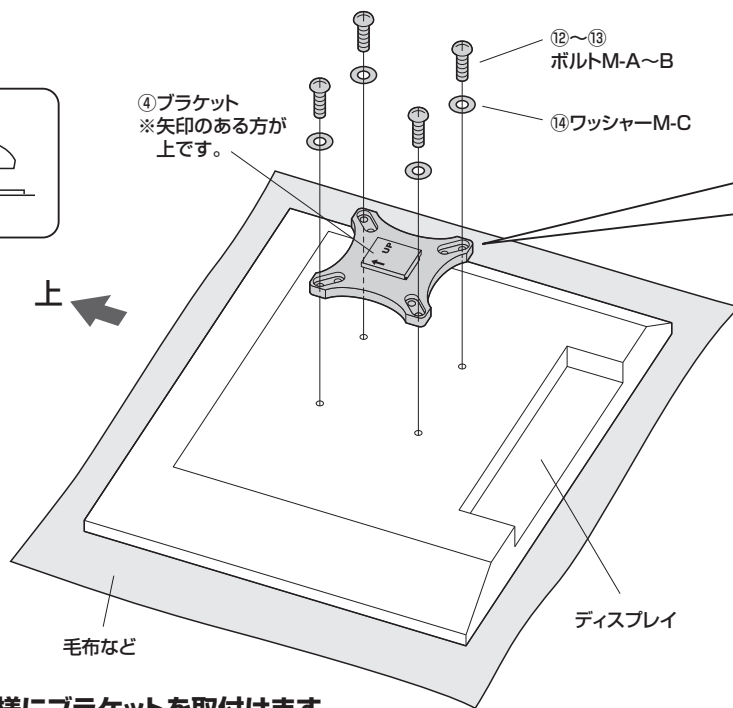


▲注意▲
耐荷重以上のディスプレイは
取付けないでください。

▲注意▲
毛布などを下に敷いてください。

▲注意▲
ディスプレイに付属しているスタンド類は
取外してください。

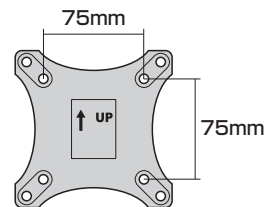
※もう一方のディスプレイにも同様にブラケットを取付けます。



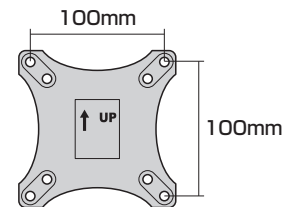
<上から見た図>

※ディスプレイのネジ穴とブラケットの穴を合わせます。

<ネジ穴ピッチ75×75mmの場合>

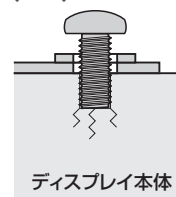


<ネジ穴ピッチ100×100mmの場合>



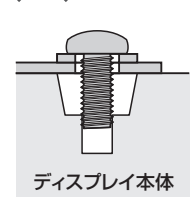
<ボルト選定時の注意>

✕ 最後まで
締まらない



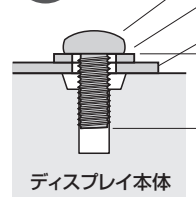
ディスプレイ本体

✕ 少ししか
回っていない



ディスプレイ本体

○



ディスプレイ本体

ボルト
⑭ ワッシャーM-C (厚み約1mm)
ブラケット (厚み約2mm)

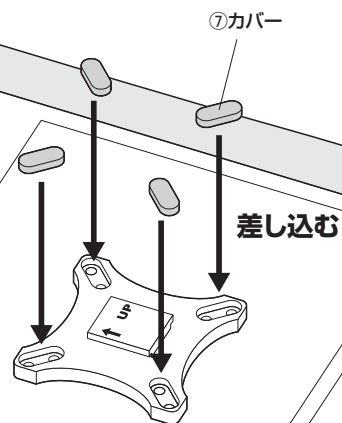
ボルトの長さを選ぶ際は、
ブラケットの厚み+ワッシャーの厚みを
加味してご用意ください。

▲注意▲

付属のボルトが合わない場合は、市販の
適切なサイズのボルトをご用意ください。

取付け穴断面図

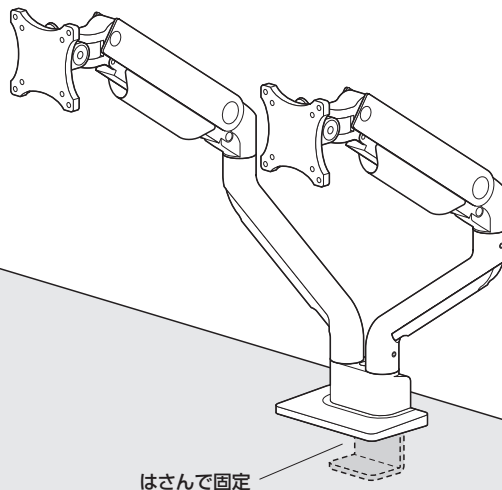
手順 2



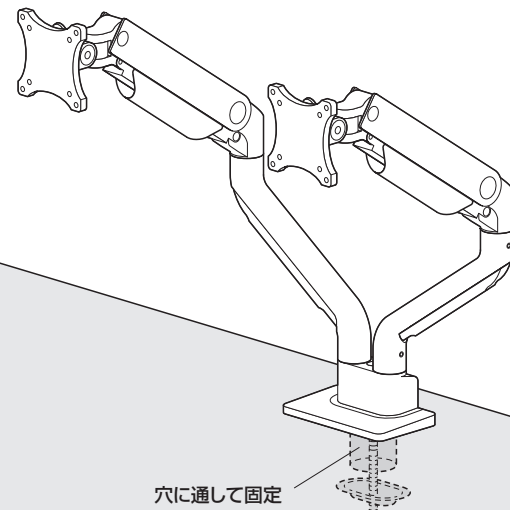
※もう一方のブラケットにも同様にカバーを取付けます。

※本製品は組立て方によって、手順 3 以降が異なります。

A タイプ

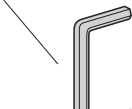


B タイプ



手順 A-3

①六角レンチ(6mm)

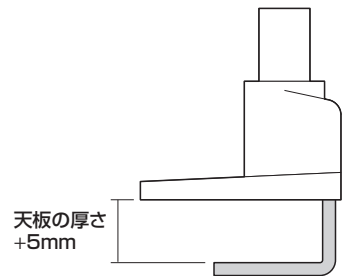


緩める

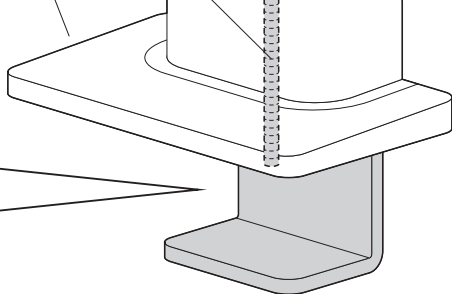
固定ボルト

③ベース

<横から見た図>



天板の厚さ
+5mm

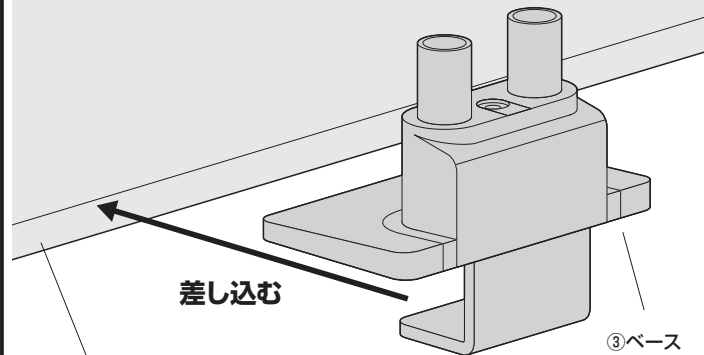


手順 A-4

差し込む

天板
※厚さ10mm~50mmに対応

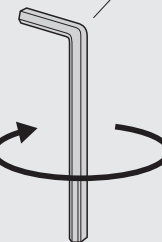
③ベース



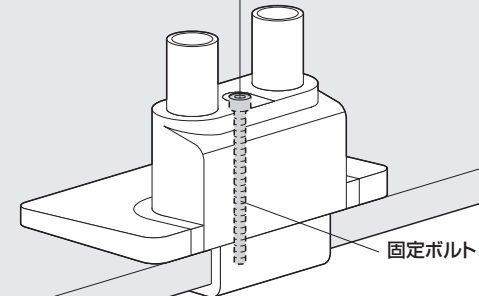
手順 A-5

①六角レンチ(6mm)

締める



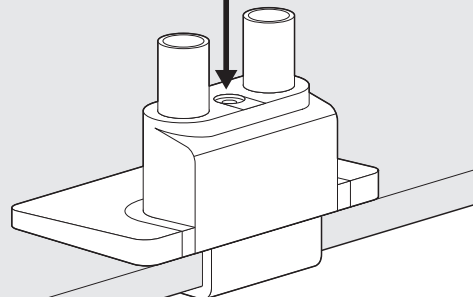
固定ボルト



手順 A-6

⑥ベースカバー

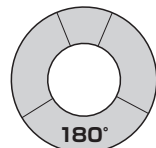
差し込む



手順 A-7

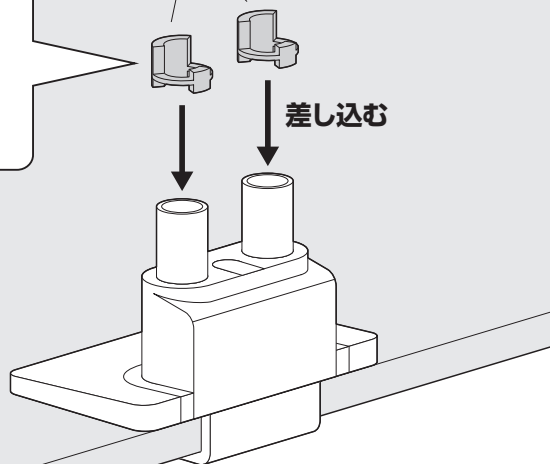
<可動範囲180°の場合>

<上から見た図>



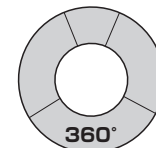
⑤金具

差し込む



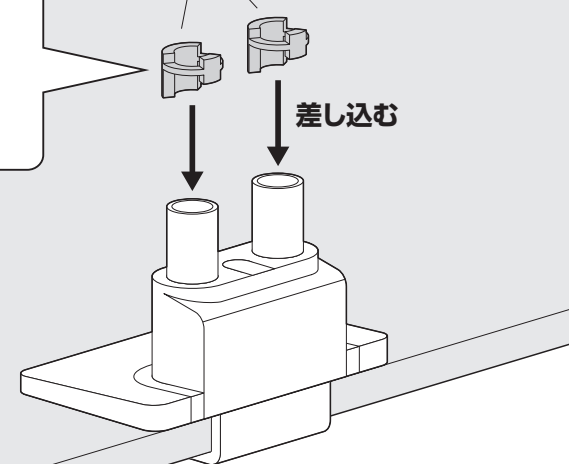
<可動範囲360°の場合>

<上から見た図>

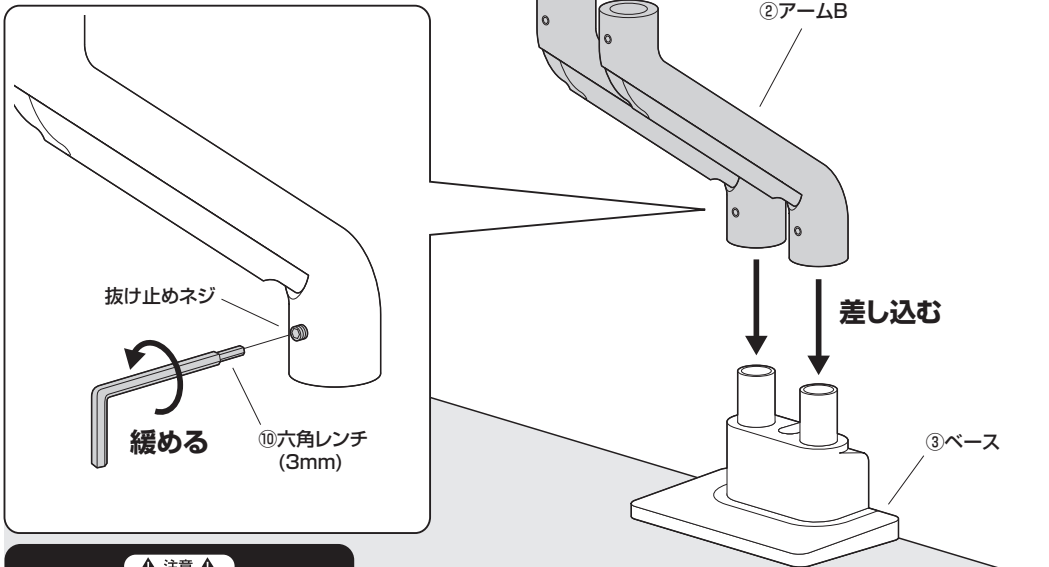


⑤金具

差し込む



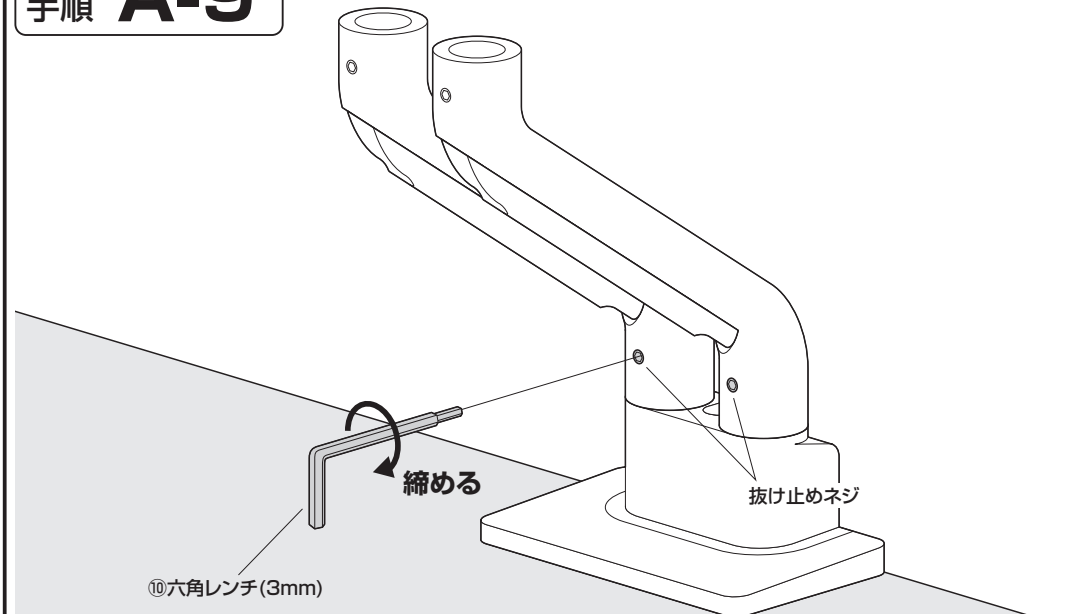
手順 A-8



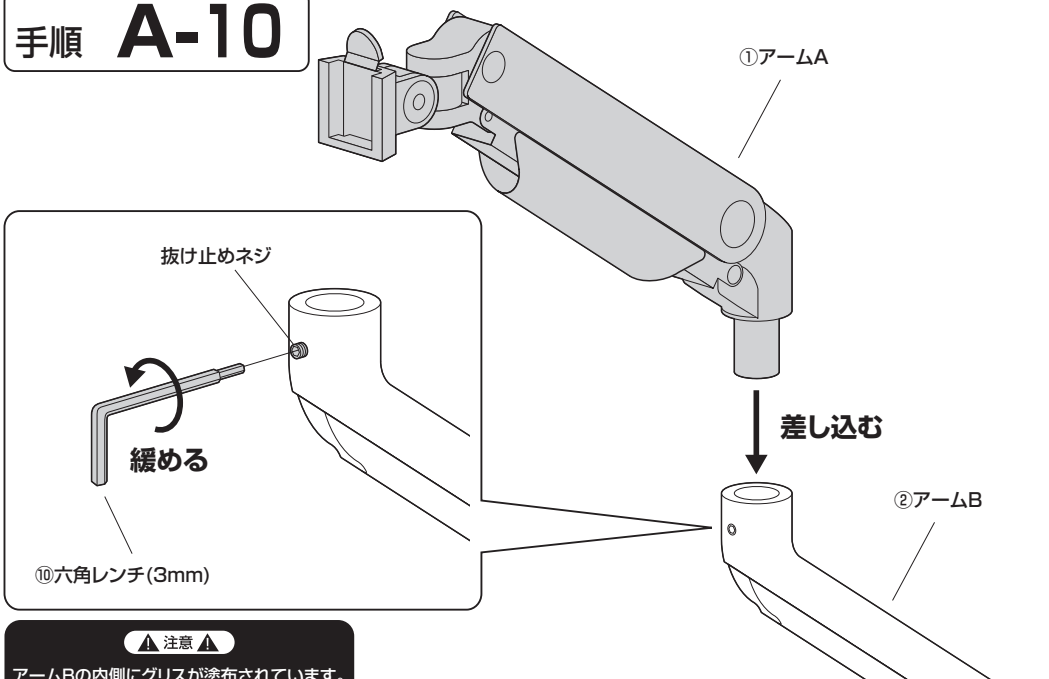
▲ 注意 ▲

アームBの内側にグリスが塗布されています。
手や服などが汚れないようにご注意ください。

手順 A-9



手順 A-10

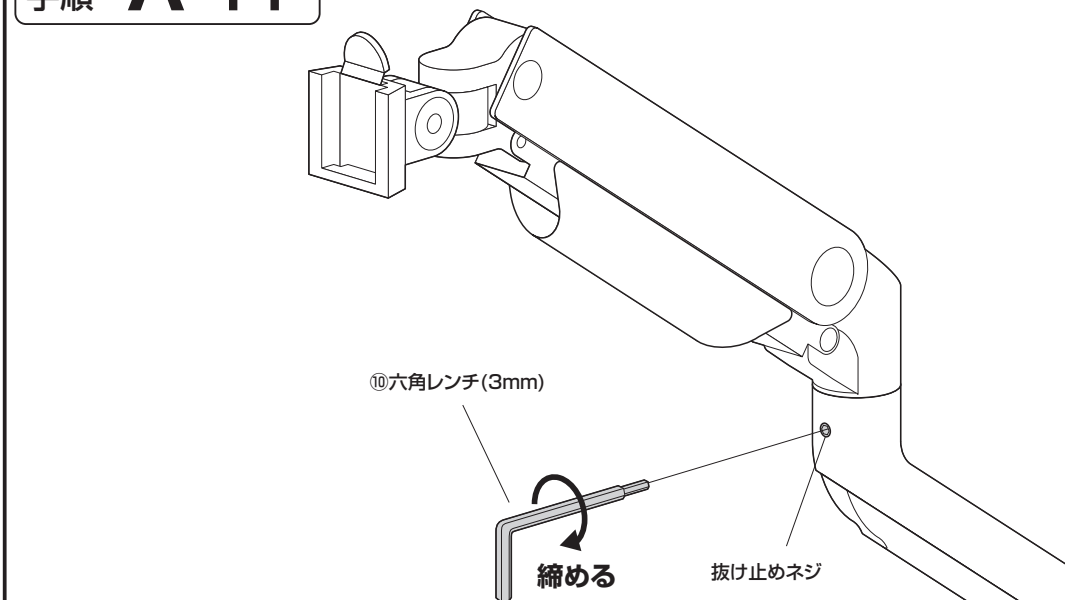


▲ 注意 ▲

アームBの内側にグリスが塗布されています。
手や服などが汚れないようにご注意ください。

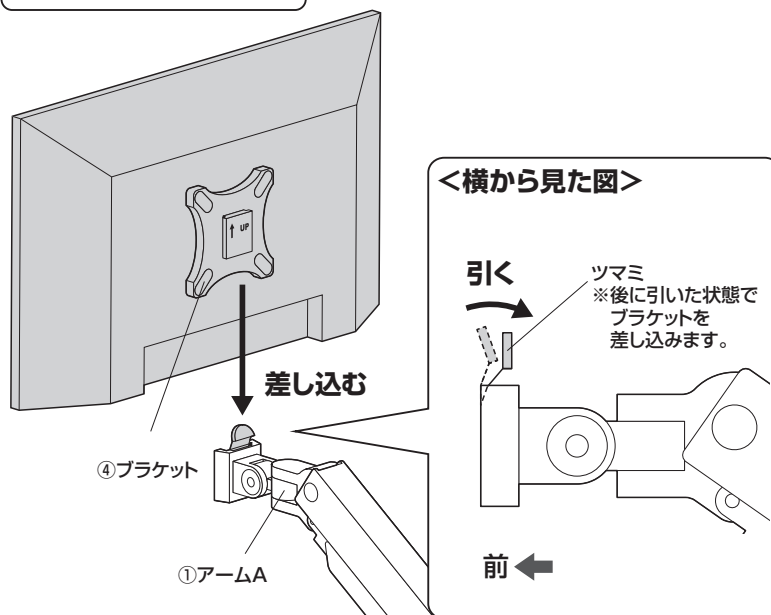
※もう一方のアームAも同様に差し込みます。

手順 A-11



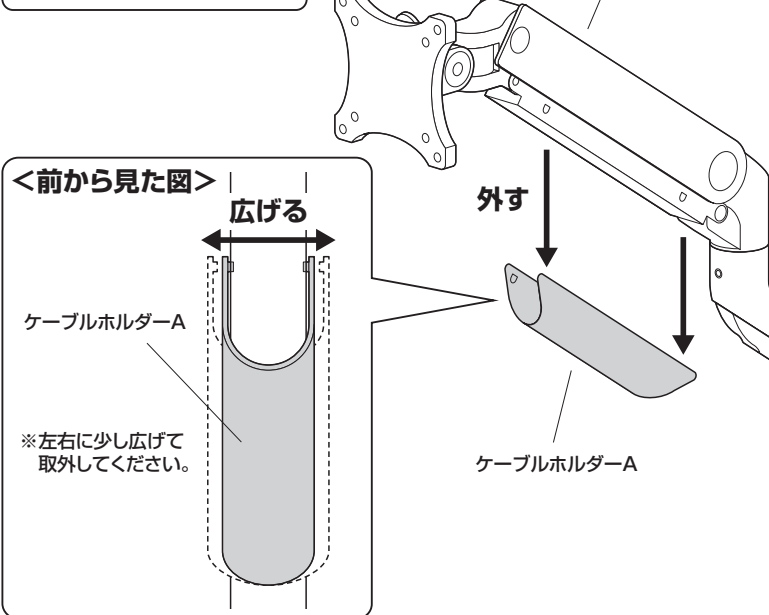
※もう一方のアームBの抜け止めネジも同様に締めます。

手順 A-12



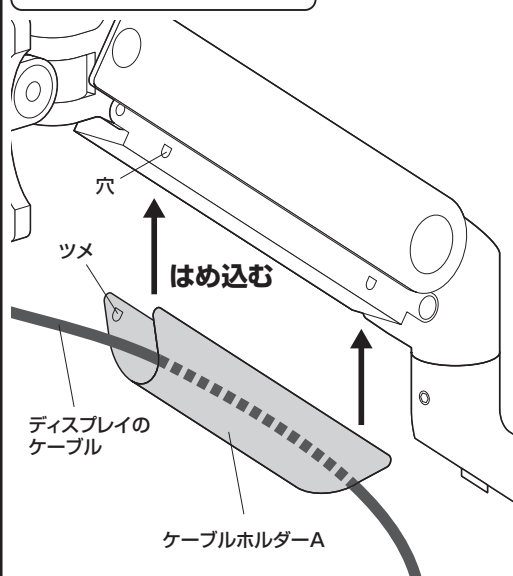
※もう一方のブラケットも同様に差し込みます。

手順 A-13



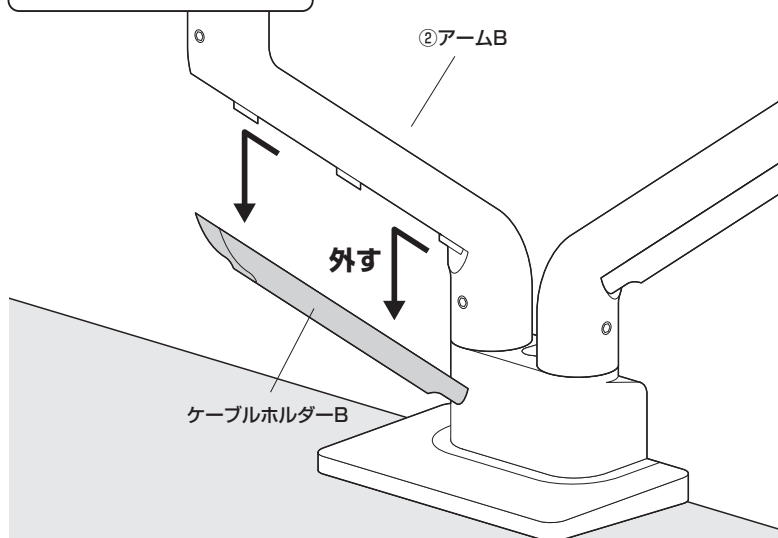
※もう一方のケーブルホルダーAも同様に外します。

手順 A-14



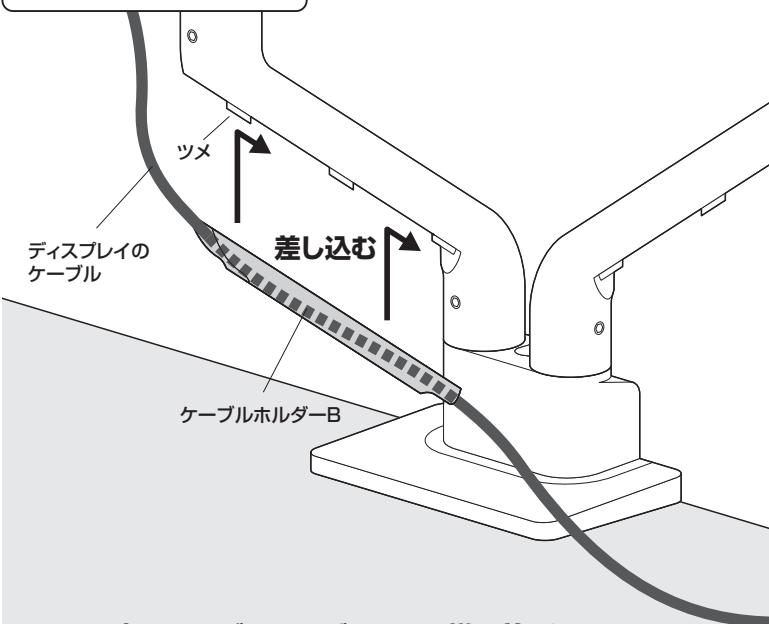
※もう一方のケーブルホルダーAも
同様にはめ込みます。

手順 A-15



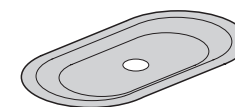
※もう一方のケーブルホルダーBも同様に外します。

手順 A-16

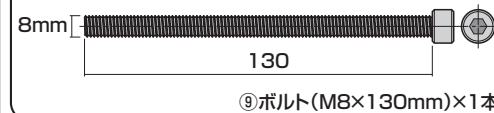


※もう一方のケーブルホルダーBも同様に差し込みます。

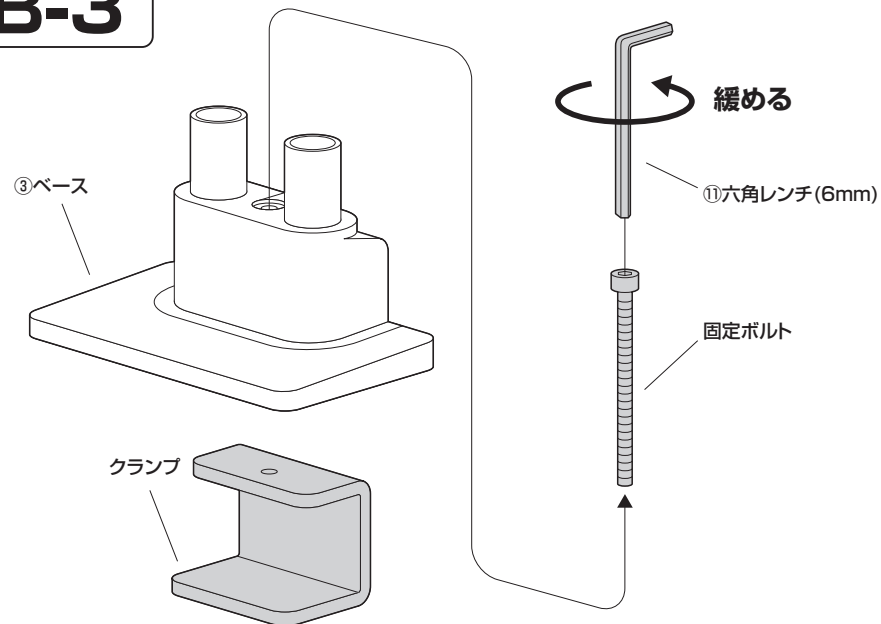
※はさんで固定する場合は、下記の部品は使用しません。



⑦固定用プレート×1枚

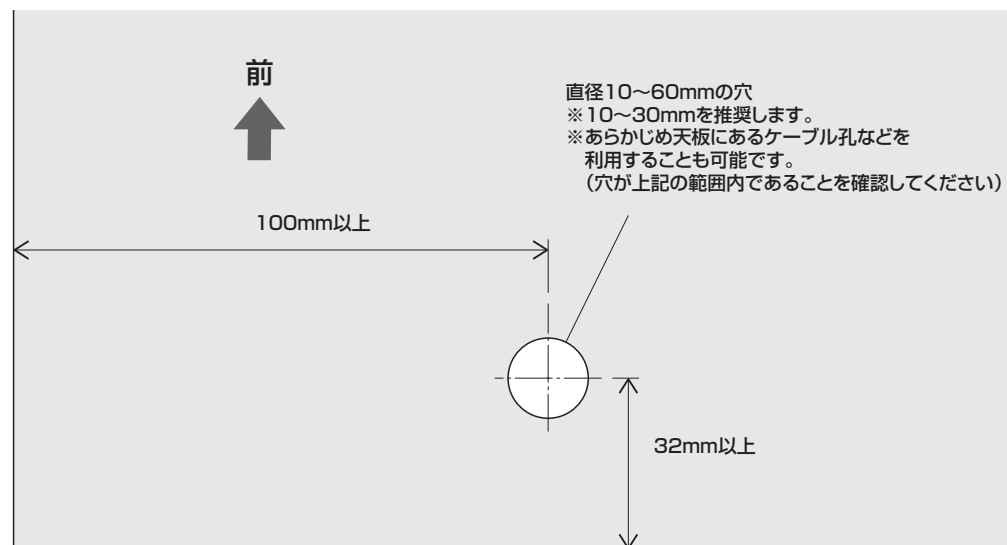


手順 B-3

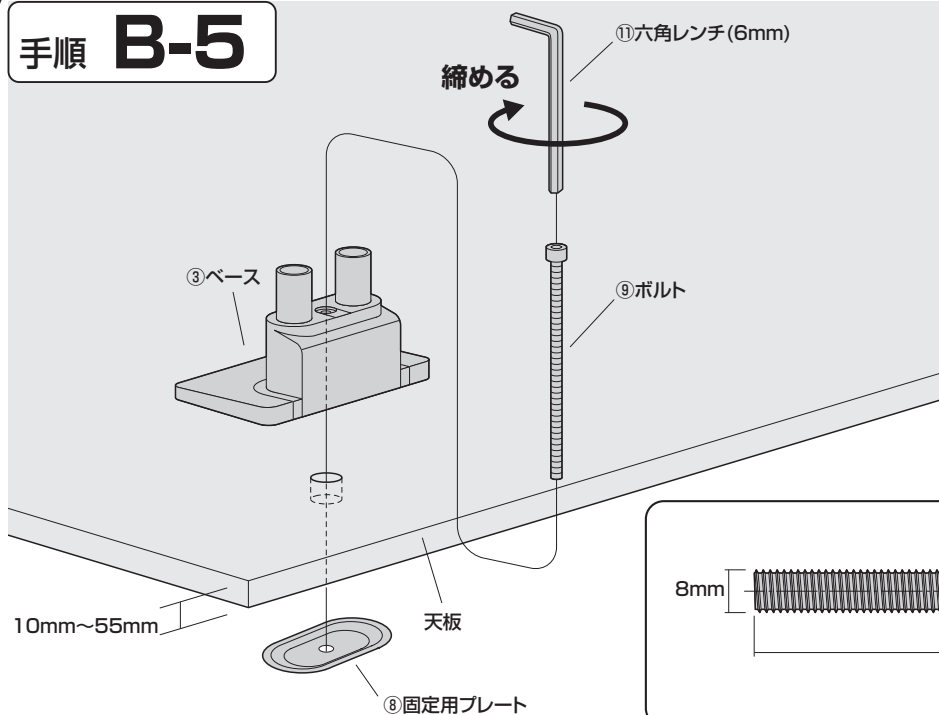


手順 B-4

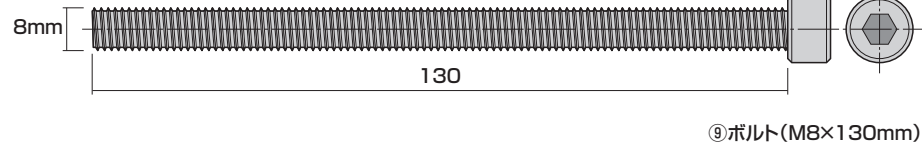
<上から見た図>



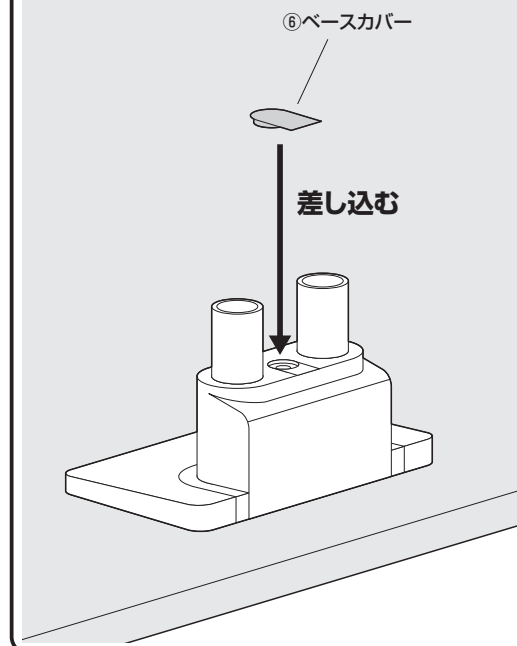
手順 B-5



⚠ 注意 ⚠
ゆるみやガタつきがないか
確認してください。



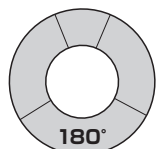
手順 B-6



手順 B-7

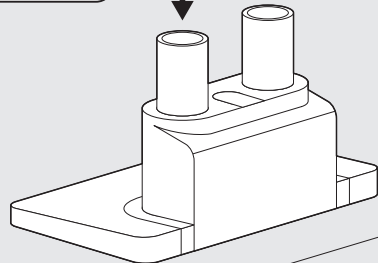
<可動範囲180°の場合>

<上から見た図>



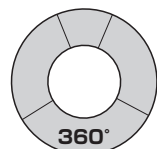
⑤金具

差し込む



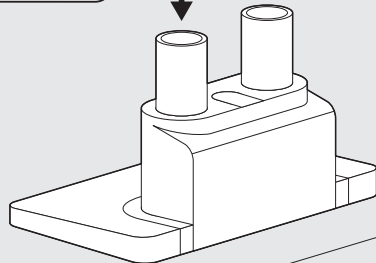
<可動範囲360°の場合>

<上から見た図>



⑤金具

差し込む



手順 B-8

抜け止めネジ

緩める

⑩六角レンチ (3mm)

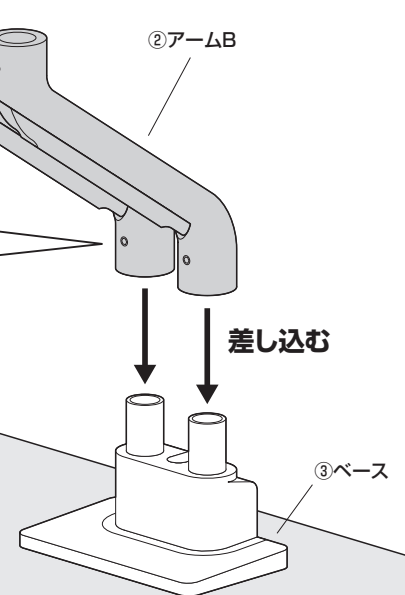
▲ 注意 ▲

アームBの内側にグリスが塗布されています。
手や服などが汚れないようにご注意ください。

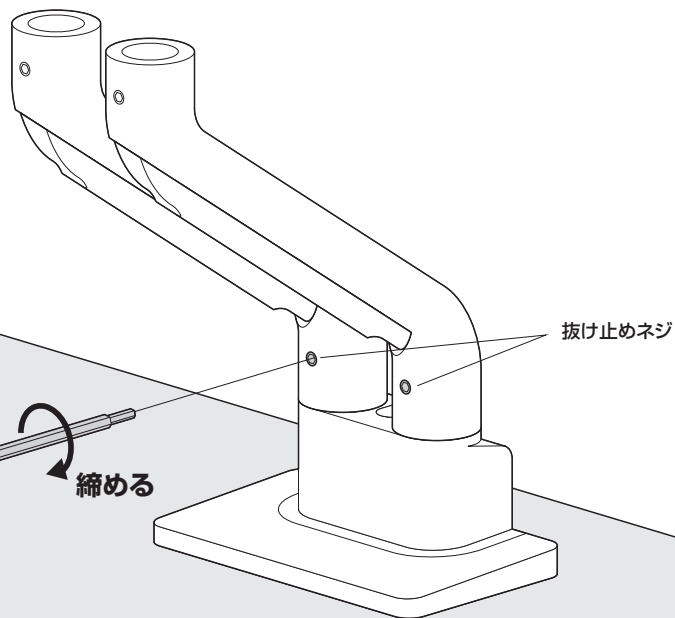
②アームB

差し込む

③ベース



手順 B-9



⑩六角レンチ (3mm)

締める

抜け止めネジ

手順 B-10

抜け止めネジ

緩める

⑩六角レンチ (3mm)

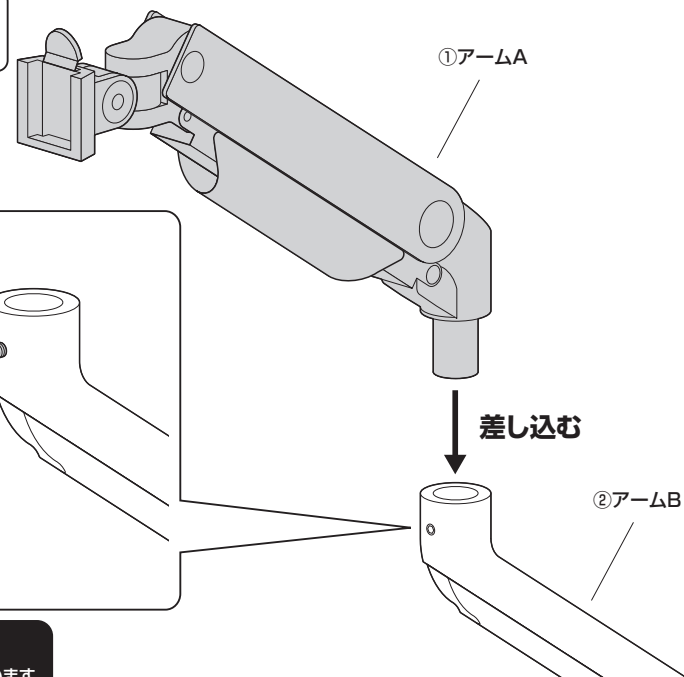
▲ 注意 ▲

アームBの内側にグリスが塗布されています。
手や服などが汚れないようにご注意ください。

①アームA

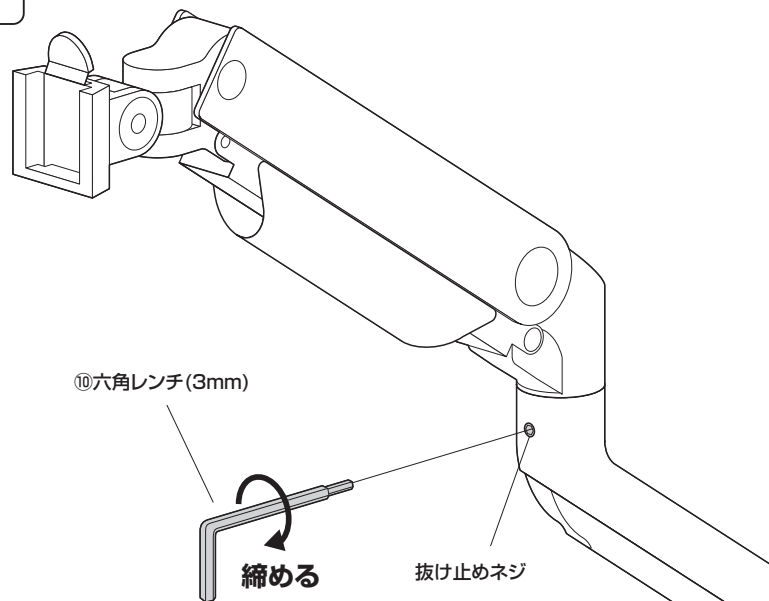
差し込む

②アームB



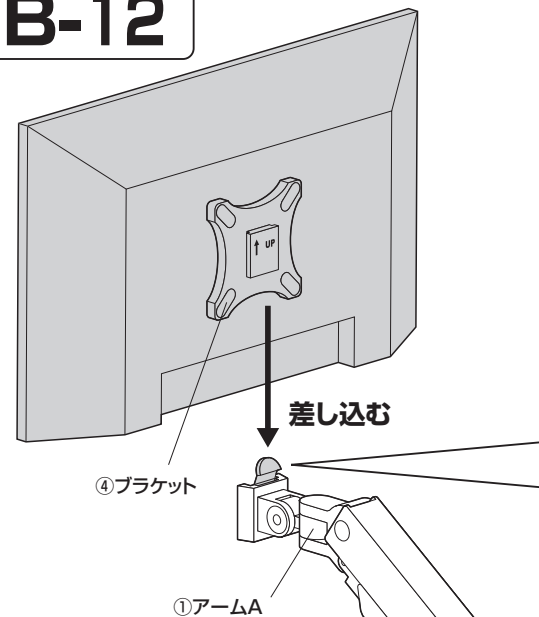
※もう一方のアームAも同様に差し込みます。

手順 B-11



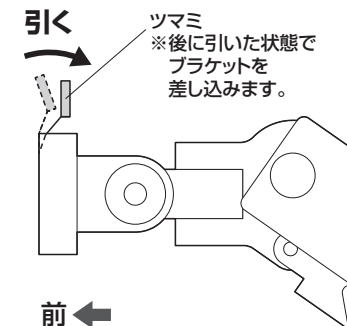
※もう一方のアームBの抜け止めネジも同様に締めます。

手順 B-12

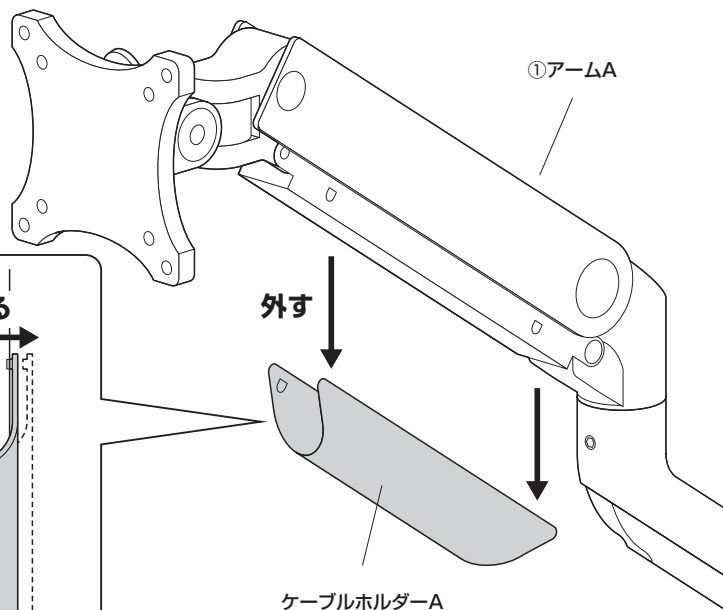


※もう一方のブラケットも同様に差し込みます。

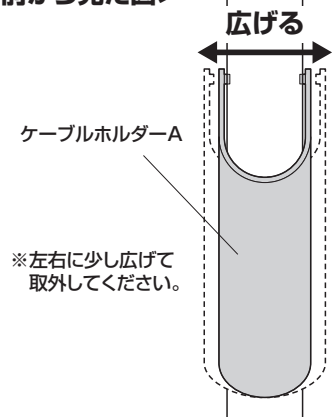
<横から見た図>



手順 B-13

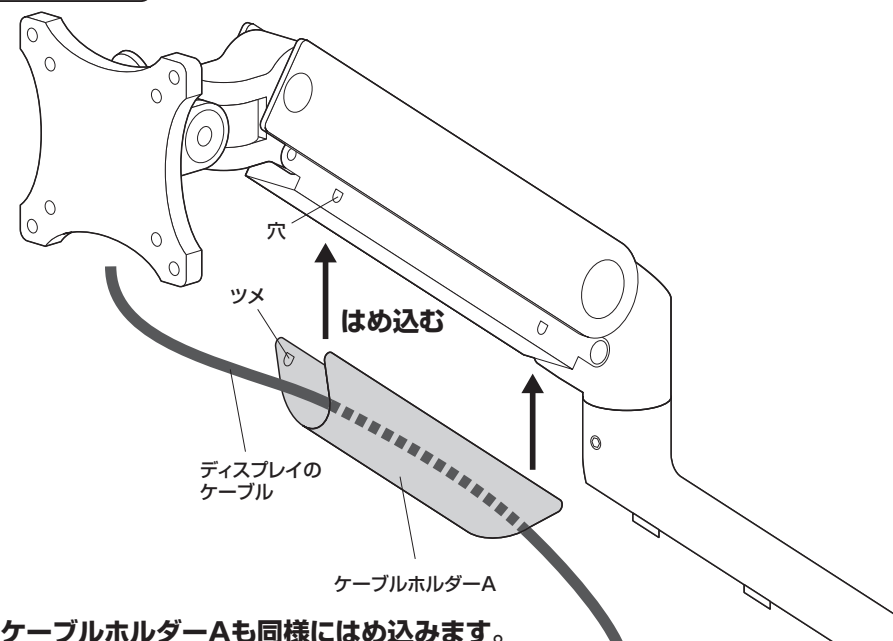


<前から見た図>



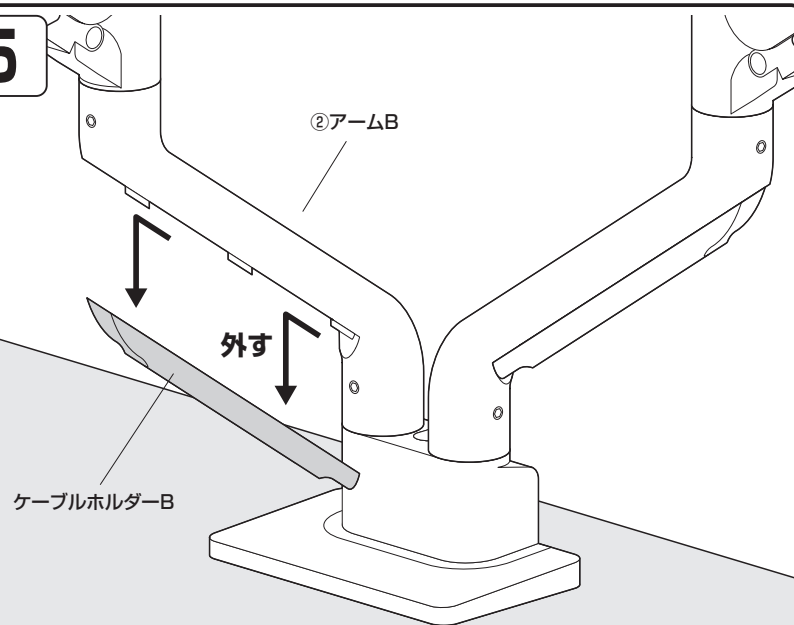
※もう一方のケーブルホルダーAも同様に外します。

手順 B-14



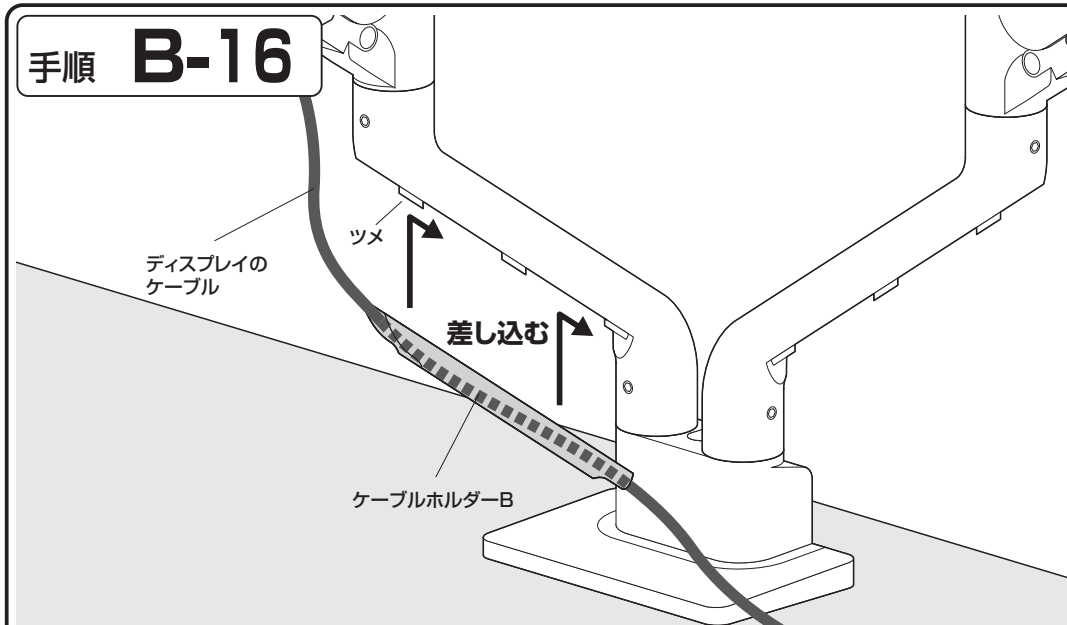
※もう一方のケーブルホルダーAも同様にはめ込みます。

手順 B-15



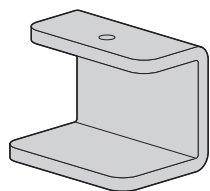
※もう一方のケーブルホルダーBも同様に外します。

手順 B-16



※もう一方のケーブルホルダーBも同様に差し込みます。

※穴に通して固定する場合は、下記の部品は使用しません。



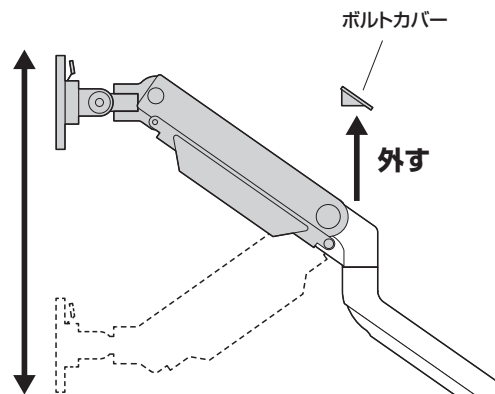
クランプ×1個



固定ボルト×1本

アームの保持力の調節方法

手順 1



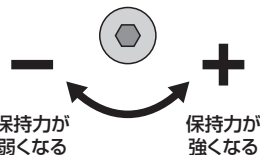
手順 2

取付けるディスプレイに合わせて
アームの保持力の調整ができます。

⑩六角レンチ(6mm)

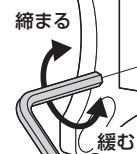


<上から見た図>

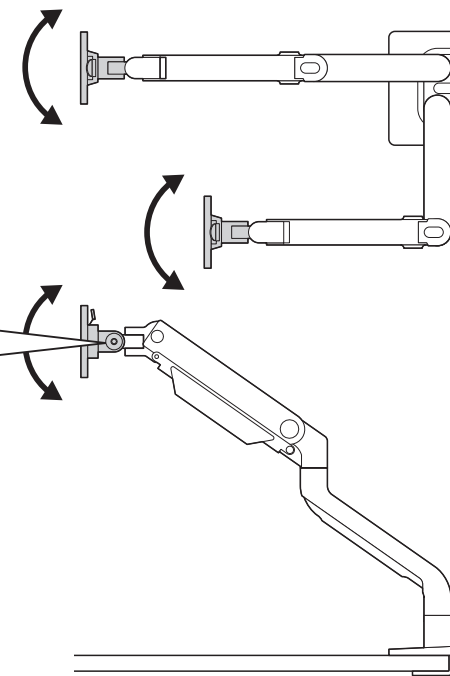


ブラケットの調節方法

ブラケット

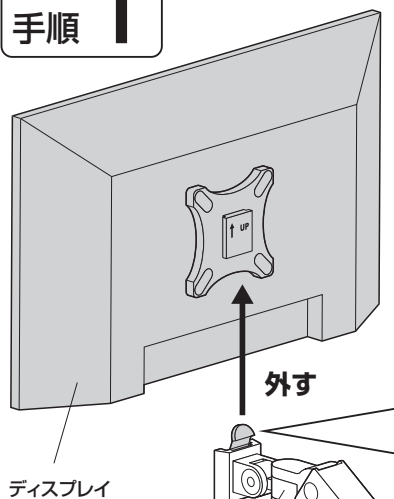


⑨六角レンチ(4mm)



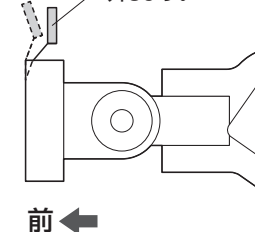
アームの可動範囲を変更する場合

手順 1



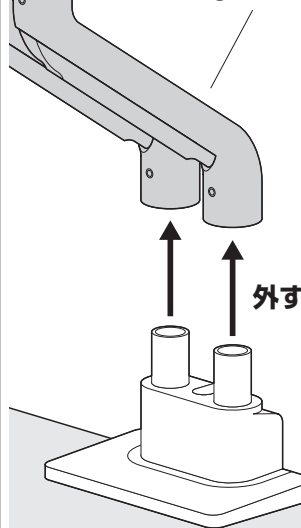
<横から見た図>

引く
ツマミ
※後に引いた状態で
ブラケットを
外します。



手順 2

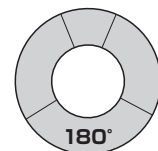
②アームB



手順 3

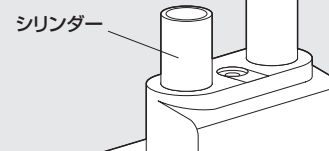
<可動範囲180°の場合>

<上から見た図>



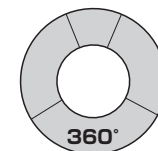
⑤金具

差し込む



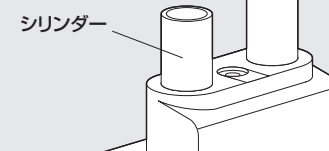
<可動範囲360°の場合>

<上から見た図>



⑤金具

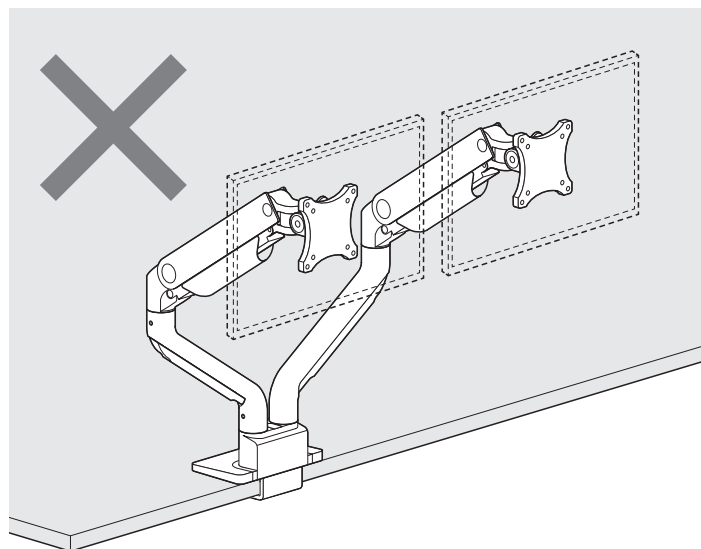
差し込む



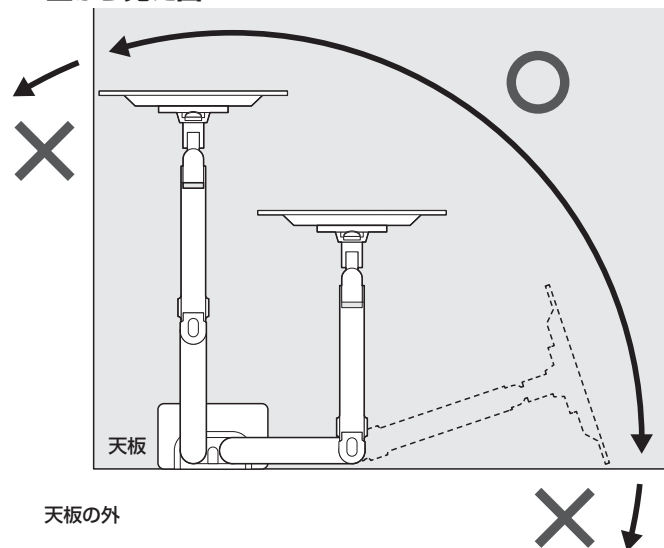
※もう一方のシリンダーにも同様に金具を差し込みます。
※変更後は逆の手順でアーム、ディスプレイを取付けます。

安全の為に注意していただく点

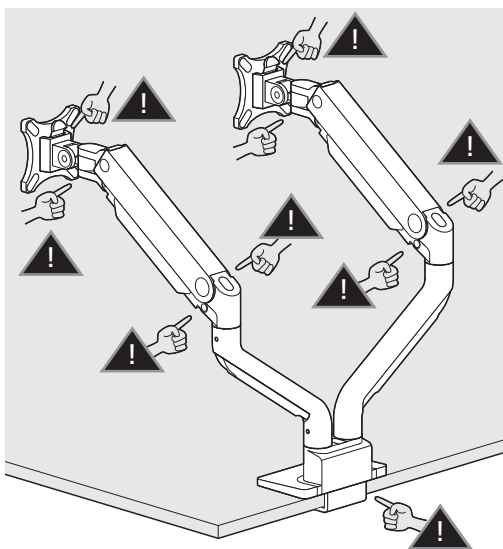
⚠ 落下する恐れがあるので、天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。



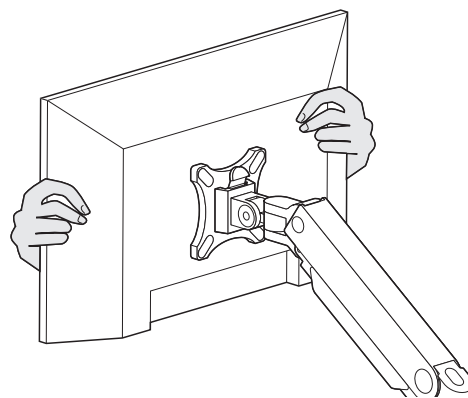
＜上から見た図＞



⚠ 可動部分で指などをはさまないように注意してください。



⚠ ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



⚠ その他

- アームには耐荷重以上の機器を取付けないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を取付けた机を移動させないでください。
- ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
(1)保証書をご提示いただけない場合。
(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
(6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じてても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様の負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書		サンワサプライ株式会社
型 番：100-LAC008シリーズ		
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名		
保証期間 3年 お買い上げ年月日 年 月 日		

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

注)上記の保証期間は、摩耗や摩擦損傷、プラスチックやガラスの破損、パネの摩耗、コーティングの欠陥、落下、火災、水没、地震、雷など、事故や天災などの不可抗力による故障・破損は保証対象外となりますのでご了承ください。